

令和 4 年度
伊勢湾再生に向けた取組み報告

令和 5 年 3 月
伊勢湾再生推進会議

1. 令和4年度の伊勢湾再生に向けた取組み	1
1.1 3つの基本方針に対する取組み	2
(1) 「基本方針1：健全な水・物質循環の構築」に向けた取組み	3
(2) 「基本方針2：多様な生態系の回復」に向けた取組み	6
(3) 「基本方針3：生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充」に向けた取組み	7
(4) 多様な主体による協働・連携	8
1.2 伊勢湾再生に向けた取組みの進捗状況	10
(1) 「基本方針1：健全な水・物質循環の構築」に向けた取組み	10
(2) 「基本方針2：多様な生態系の回復」に向けた取組み	12
(3) 「基本方針3：生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充」に向けた取組み	13
(4) 多様な主体による協働・連携	14
1.3 モニタリングや広報活動等の報告	15
(1) 令和4年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング	15
(2) 広報活動の充実	18

1. 令和4年度の伊勢湾再生に向けた取組み

伊勢湾再生に向けた施策実施状況の推移を図 1.1 に示す。

これまで継続的に施策が実施されており、令和4年度時点では、152 施策を実施した。今年度実施した施策について、伊勢湾再生の目標を実現するための3つの基本方針ごとに、施策実施の詳細や実施内容について次頁以降に整理した。

令和4年度に新たに始まった施策

- ・岐阜県 G-37 脱炭素社会ぎふを支える人づくり推進事業
- ・愛知県 A-25-2 海域環境創造事業（三河港大塚地区）

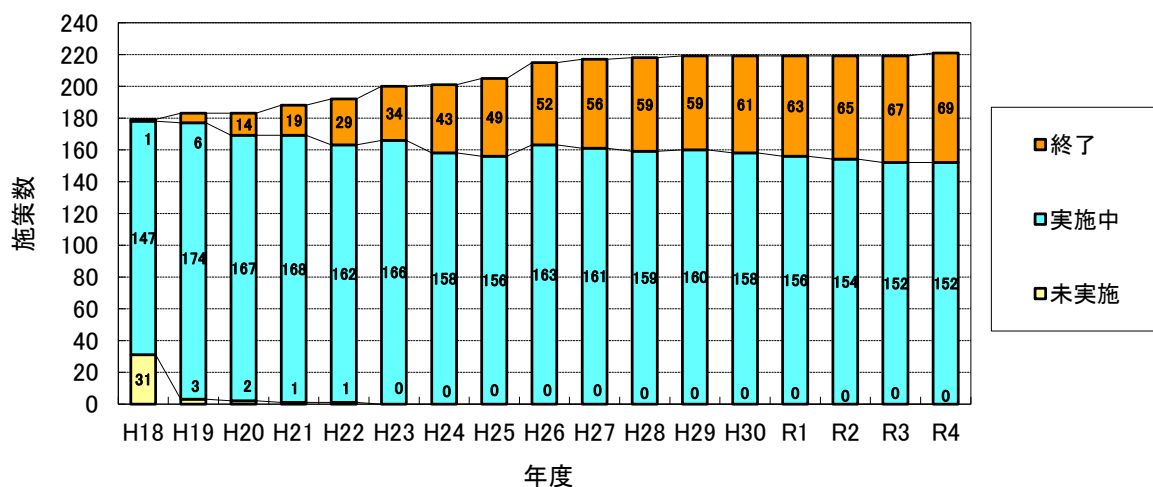
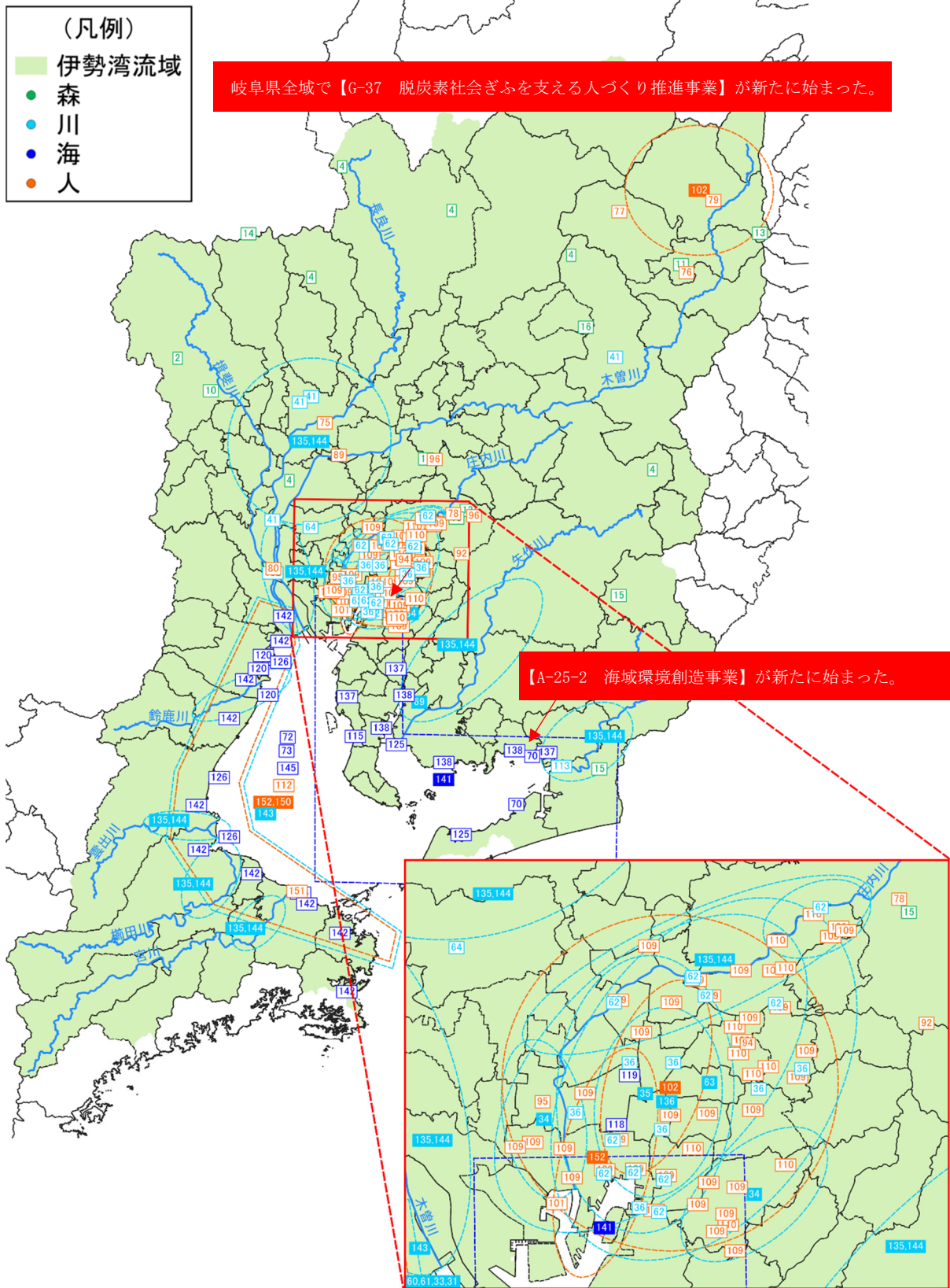


図 1.1 施策実施状況の推移（令和4年度時点の施策数）

1.1 3つの基本方針に対する取組み

施策の実施箇所を図 1.2 に示す。



※施策一覧表のうち実施箇所が限定できる施策を図示

※白抜き No.はエリアで実施している施策

図 1.2 施策の実施箇所

(1) 「基本方針1：健全な水・物質循環の構築」に向けた取組み

基本方針の考え方：汚濁負荷の削減、森林・農用地等の保全・整備、海域の底質改善、沿岸域及び流域の人々の適正な水の使用、水質浄化機能の保全・再生・創出等を行うこれにより、伊勢湾流域圏の健全な水・物質循環を構築する。

代表的な取組みには、森林整備を目的とした企業や市民ボランティア等との植栽や間伐、木曾川の豊かできれいな水とそれを育む森林の大切さを学べる体験ツアーの開催や、広い歯に出の清掃活動が実施された（今年度の基本方針1の関連施策は112施策）。

他にも、貧酸素水塊のモニタリングや、ヨシ原再生事業のモニタリング等を実施している。



(名古屋市 緑政土木局 提供)



(名古屋市 上下水道局 提供)

N-9 なごや東山の森づくり
森の手入れ、子ども向け体験行事の開催

N-14 木曾川流域上下流交流
サマートリップ in 木祖村



(愛知県 環境局 水大気環境課 提供)

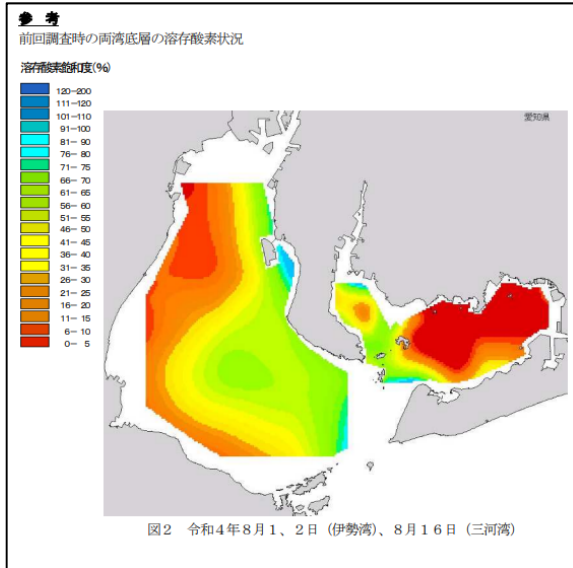


A-57 生活排水対策の普及啓発

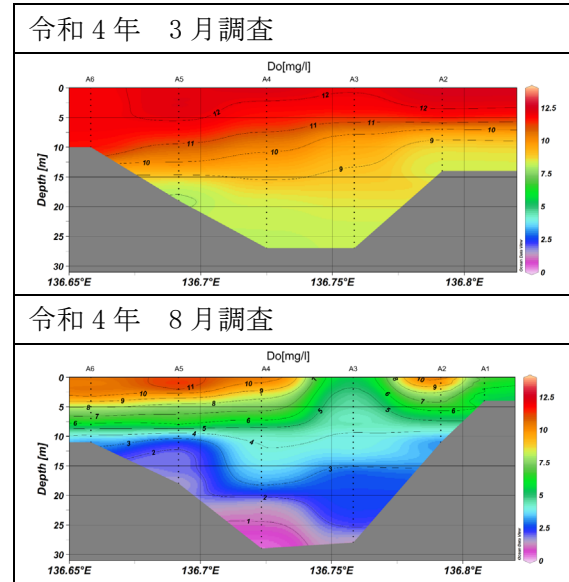
NPO 法人（渡し場かもめ会）による清掃活動

【貧酸素水塊のモニタリング例】

- ・ 愛知県水産試験場では、夏季の6月から10月にかけて貧酸素水塊の調査を定期的に行い、愛知県のHPにて公表している。
- ・ 第四管区海上保安本部では、測量船「いせしお」による調査を毎月行い、結果を公表している。



愛知県 HP より



第四管区海上保安本部 HP より

(2) 「基本方針2：多様な生態系の回復」に向けた取り組み

基本方針の考え方：生物の生息・生育する干潟、浅場、藻場等の保全・再生・創出等を行い、多様な生態系と漁業生産の回復を図る。

代表的な取り組みには、アサリ資源の復活を目的とした干潟の造成や浅場の底質改善や、ヨシ原の再生を目的としたヨシ苗の移植、一般の方々との水生生物調査等が実施された（今年度の基本方針2の関連施策は17施策）。

他にも、伊勢湾シミュレーター²を活用した栄養塩管理の検討や、干潟のモニタリングなどを実施している。

 <p>(愛知県 農業水産局 提供)</p>	 <p>(愛知県 環境局 水大気環境課 提供)</p>
<p>A-30 干潟・浅場造成事業</p>	<p>A-56 干潟の生きもの観察会 干潟での生きもの採取</p>

表 1.2 各機関の施策一覧

基本方針		No.	岐阜県	No.	愛知県	No.	三重県	
2 多様な生態系の回復	川							
	海	ヨシ原・砂州再生						
		海岸整備			115	A-35	116	M-28
		漁場環境保全			121	A-29	123	M-50
		藻場、干潟、浅場の造成			122	A-32	124	M-52
	干潟モニタリング			125	A-30	126	M-21	
環境保全活動			127	A-54				
人	啓発			129	A-56			

基本方針	No.	名古屋市	No.	国	No.	名古屋港管理組合	No.	四日市港管理組合	No.	共通	
2 多様な生態系の回復	川		113	C-10	自然再生事業(豊川下流部)						
	海		114	C-11	自然再生事業(木曾三川河口)						
				117	C-17	高潮対策事業		120	YP-1	四日市港定期水質調査	
	人						128	YP-2	環境啓発活動の実施		

※赤字の番号：施策一覧表のうち実施箇所が限定できる施策

(3) 「基本方針3：生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充」に向けた取組み

基本方針の考え方：地域の活性化、自然や歴史的・文化的資源の保全に配慮して、沿岸域及び流域の人々が海辺に親しめる水際線、緑地、景観の形成を図るとともに、人と海とのふれあいの場や機会を創出することで、生活空間において安全で憩い・安らぎを得られる空間を拡充する。

代表的な取組みには、テレビCMによる海岸漂着物対策に関する普及啓発活動や、海洋環境整備船「白龍」による浮遊ごみの回収等の取組みが実施された（今年度の基本方針3の関連施策は23施策）。

 <p>(中部地方整備局 港湾空港部 提供)</p>	 <p>(三重県 県土整備部 提供)</p>
<p>C-19 海洋環境整備事業（海洋環境整備船「白龍」による漂流ゴミ回収状況） クレーンによる流木の回収状況</p>	<p>M-37 いきいき海の子浜づくり(養浜状況) 人々が利用しやすい海岸を創出するために養浜工を実施した</p>
 <p>(名古屋市 住宅都市局 提供)</p>	 <p>(中部地方整備局 港湾空港部 提供)</p>
<p>N-15 みなと回遊ループの構築 水上交通定期運航</p>	<p>C-17 高潮対策事業(阿漕浦・御殿場工区) 利活用状況（ビーチバレー）</p>

表 1.3 各機関の施策一覧

基本方針	No.	岐阜県		愛知県		三重県	
		No.		No.		No.	
3 生活空間での憩い・安らぎ空間	川						
	公園及び緑地整備						
	ごみ回収	133	G-16 生活環境美化対策事業	137	A-34 港湾環境整備事業	134	M-14 河川愛護月間に合わせた清掃活動
	海岸整備						
海	公園及び緑地整備						
	ごみ回収			138 139 140 141	A-40 海岸・港湾・漁港愛護活動助成費 A-41 流木等処理負担金 A-42 災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業 A-53 海岸漂着物対策推進事業	142 143	M-29 海岸美化ボランティア活動推進事業 M-43 海岸漂着物対策の推進
人	ごみ回収	146	G-37 脱炭素社会を支える人づくり推進事業	147	A-55 海岸漂着物の抑制に関する啓発	148 149	M-10-1 伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦 M-45 三重県における海岸漂着物対策の推進
	海岸整備					151	M-37 いきいき海の子浜づくり

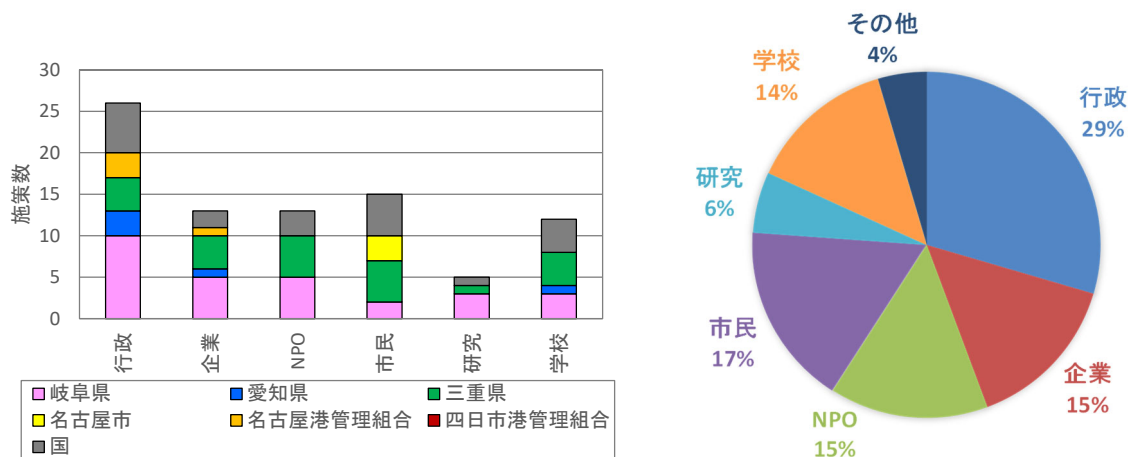
基本方針	No.	名古屋市		国		名古屋港管理組合		四日市港管理組合		共通	
		No.		No.		No.		No.		No.	
3 生活空間での憩い・安らぎ空間	川	130	N-6 緑化地域の指定	132	C-8 国営木曾三川公園整備事業						
		131	N-7 屋上・壁面緑化の推進	135	C-13 川と海のクリーンアップ大作戦	136	NP-09-1 秋季河川大清掃				
	海			144 145	C-18 川と海のクリーンアップ大作戦 C-19 海洋環境整備事業						
	人			150	C-29 漂着ゴミ調査<モニタリング調査>						
	152	N-15	みなと回遊ループの構築								

7 ※赤字の番号：施策一覧表のうち実施箇所が限定できる施策

(4) 多様な主体による協働・連携

伊勢湾再生に向けて、伊勢湾流域圏一斉モニタリング、清掃活動、干潟の保全活動などを多様な主体の参加により実施している。

活動主体の割合は、行政に次いで市民、企業、NPO で高く、今後の活動を促進していくために、行動変化を促す広報活動も重要となっている。



※重複して連携している施策あり



図 1.3 多様な主体による協働・連携を実施している施策数と割合

表 1.4 多様な主体による協働・連携を実施している施策数

	行政	企業	NPO	市民	研究	学校	その他
岐阜県	10	5	5	2	3	3	0
愛知県	3	1	0	0	0	1	0
三重県	4	4	5	5	1	4	3
名古屋市	0	0	0	3	0	0	0
名古屋港管理組合	3	1	0	0	0	0	0
四日市港管理組合	0	0	0	0	0	0	0
国	6	2	3	5	1	4	1
合計	26	13	13	15	5	12	4

※重複して連携している施策あり

多様な主体と連携・協働の例① 伊勢湾流域圏一斉モニタリング

 <p>水生物調査の様子</p>	 <p>水質パックテストの様子</p>
<ul style="list-style-type: none"> 伊勢湾再生推進会議の呼びかけにより、伊勢湾流域圏の人々が、伊勢湾に関心を持ち、自主的に参加する仕組みとして、一斉に川や海の水質調査を実施（詳細は、P17以降を参照） 	

多様な主体と連携・協働の例② 清掃活動

 <p>清掃活動（答志島） 清掃前</p>	 <p>清掃活動（答志島） 清掃後</p>
<ul style="list-style-type: none"> 国・自治体・賛同企業や団体の呼びかけにより、美しい水辺を取り戻す活動として、『川と海のクリーン大作戦』を実施 地域住民・NPO・企業等のさまざまな主体が、森・川・海のつながりを意識しながら協働・連携して清掃活動に取り組む『伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦』を実施 	

多様な主体と連携・協働の例③ 自然体験の学習

	 <p>(名古屋市 上下水道局 提供)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となり地域住民や地元の社会福祉法人と連携し、壮大な湖でのカヌー体験などの体験を通して、木曽川の豊かできれいな水とそれを育む森林の大切さなどを学べる「サマーとりっぷ in 木祖村」を開催 	

1.2 伊勢湾再生に向けた取組みの進捗状況

(1) 「基本方針1：健全な水・物質循環の構築」に向けた取組み

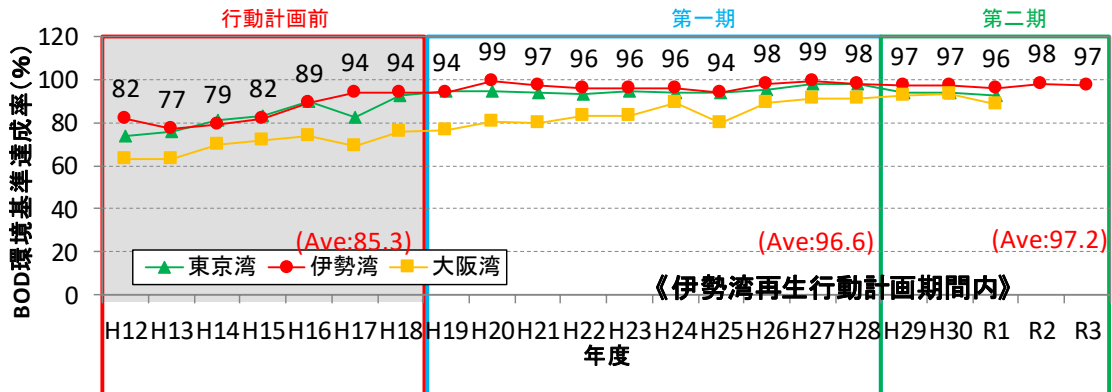
BOD 環境基準達成率は高い達成率でおおむね横ばいで推移している。

COD 環境基準達成率はおおむね横ばいで推移している。

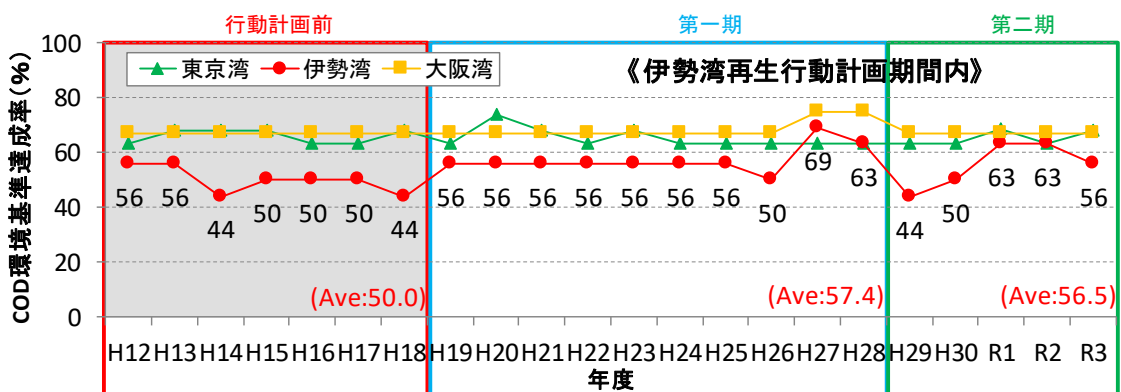
また、H29年度以降実施されていなかった覆砂に関する事業が、令和3年度より実施され令和4年度も実施予定である。

また、ヨシ原・干潟の再生面積が令和4年度は昨年度の3倍程度に増加している。

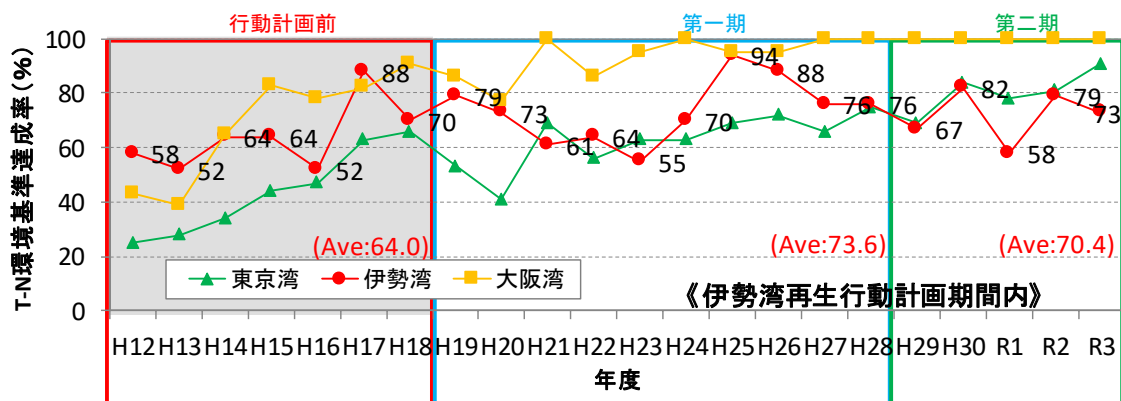
■ BOD 環境基準達成率



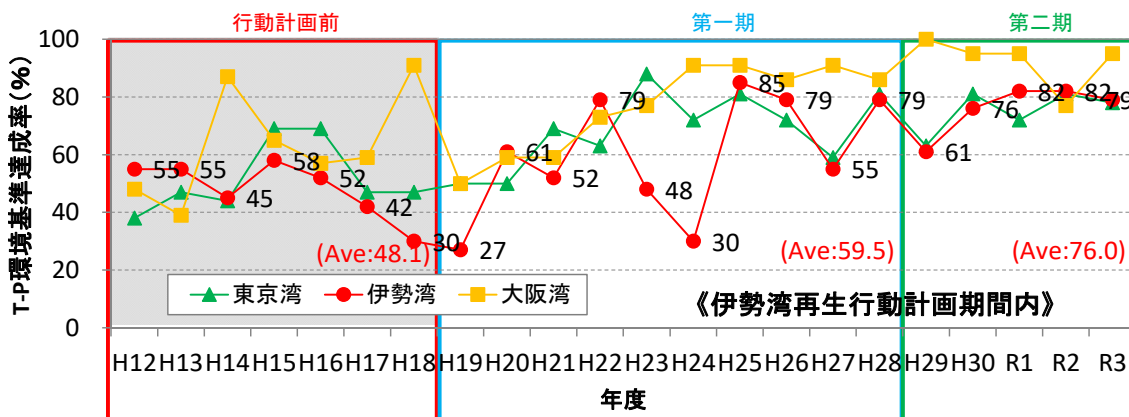
■ COD 環境基準達成率



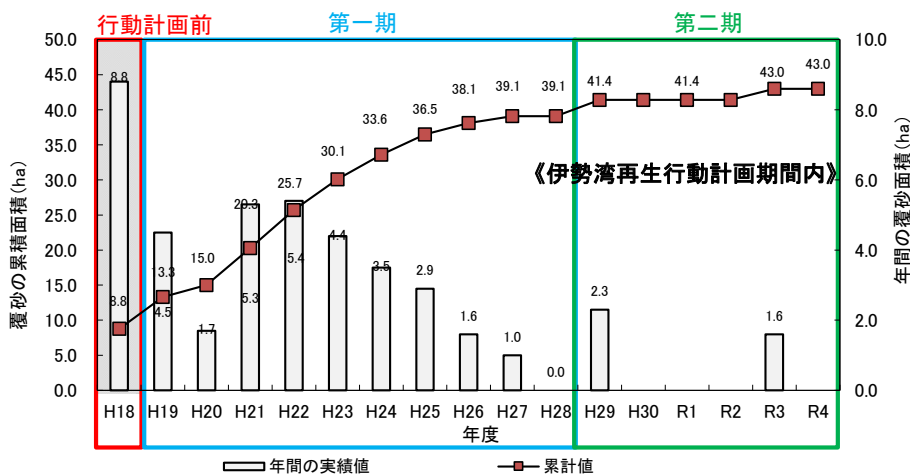
■ T-N 環境基準達成率



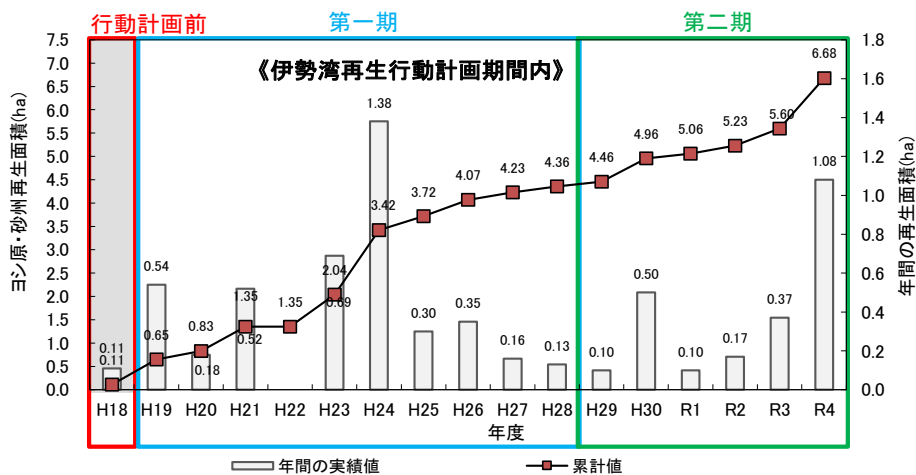
■ T-P 環境基準達成率



■ 覆砂面積



■ ヨシ原・砂州再生面積

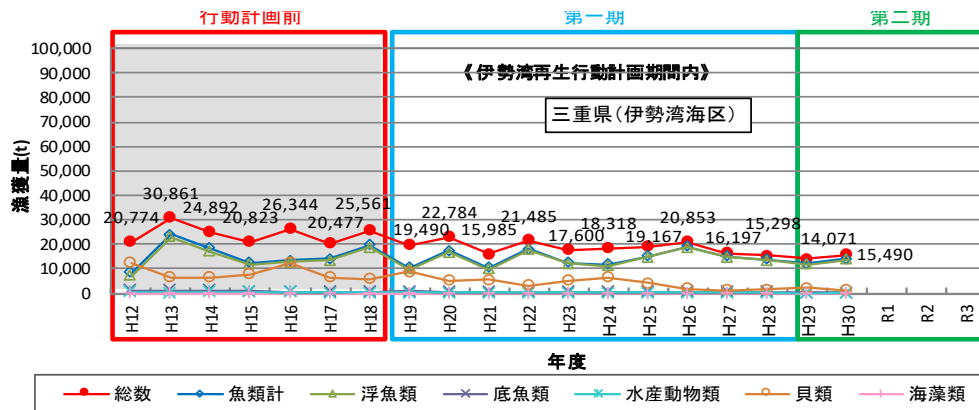
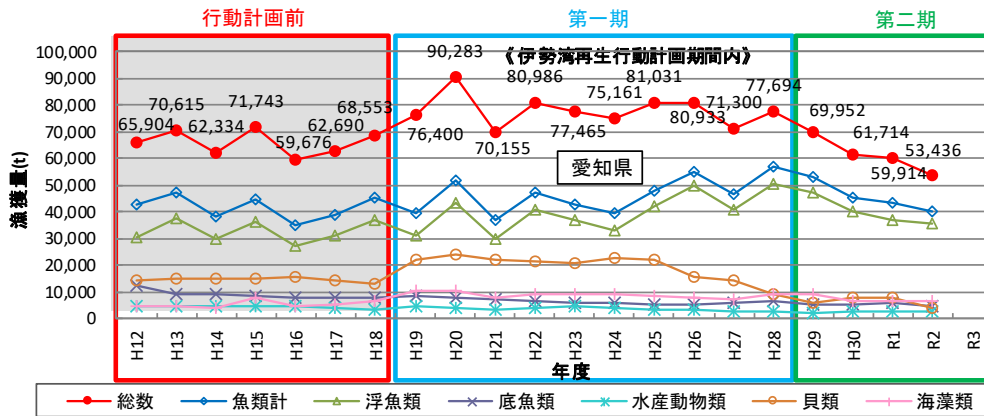


(2) 「基本方針2：多様な生態系の回復」に向けた取組み

伊勢湾内での漁獲量は昨年に引き続き減少傾向にある。

また、干潟造成面積が令和4年度は昨年度の2倍程度に増加している。

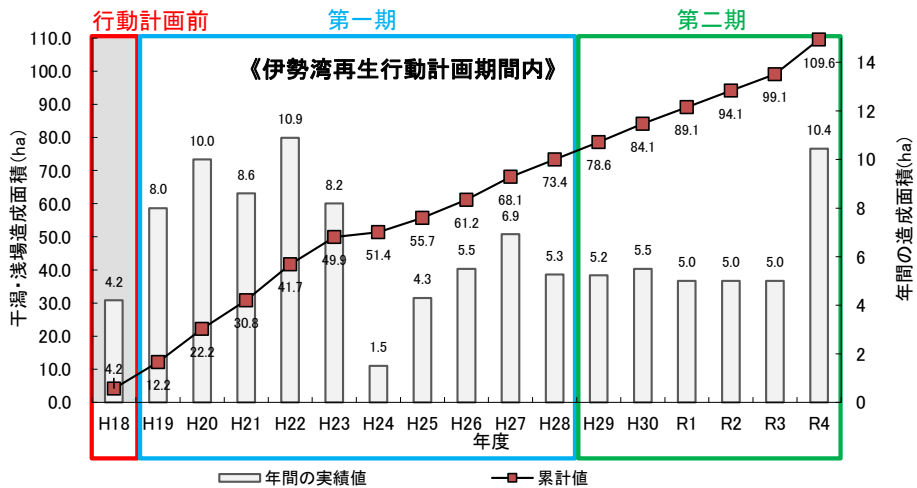
■漁獲量



※市町村別の統計データがH30で終了のため、三重県伊勢湾海区の統計データはH30まで整理

※市町村別の統計データが H30 で終了のため、
三重県伊勢湾海区の統計データは H30 まで整理

■干潟造成面積

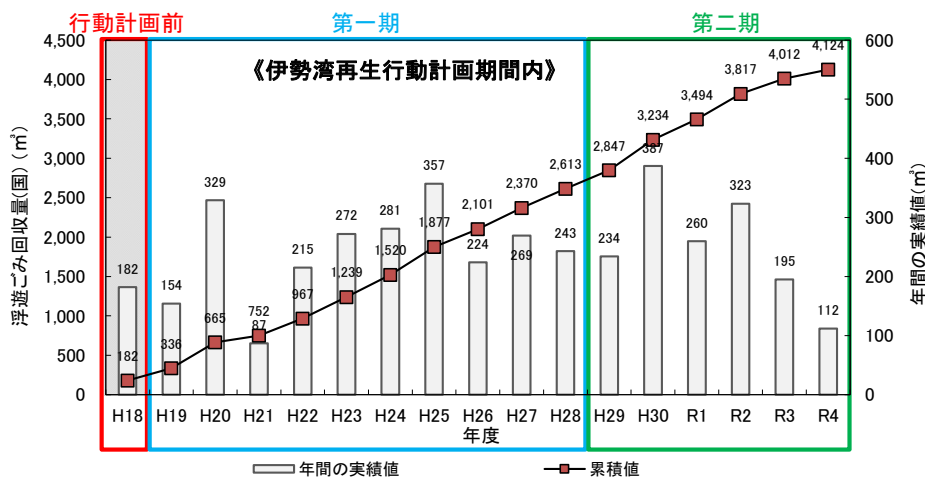


(3) 「基本方針3：生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充」に向けた取組み

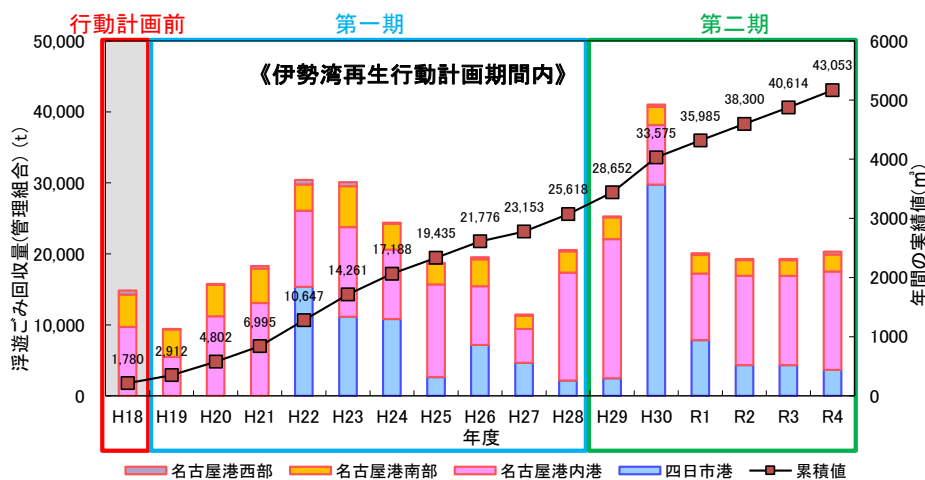
管理組合（名古屋港、四日市港）による浮遊ごみは例年と同程度の回収量となっており、継続的にごみの回収が行われている。

また、愛知県、三重県でも漂着ごみの回収を継続的に行っている。

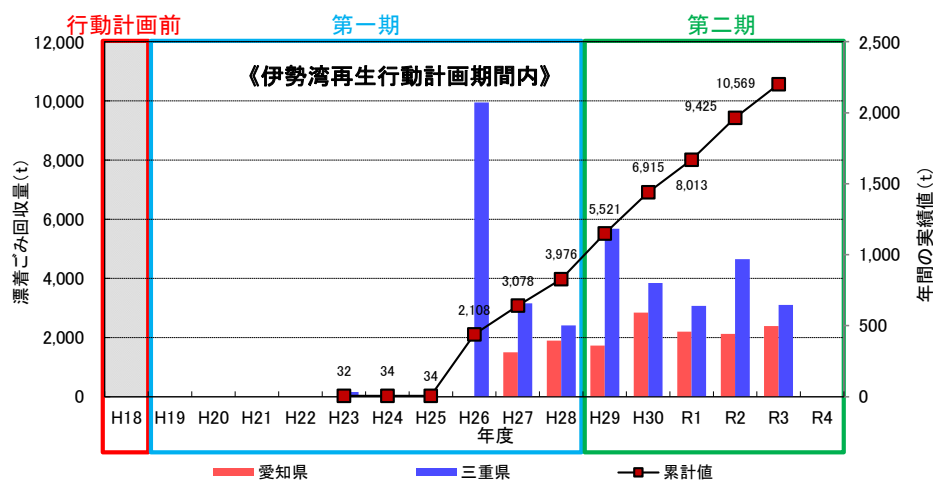
■浮遊ごみ回収量（国）



■浮遊ごみ回収量(管理組合)



■漂着ごみ回収量

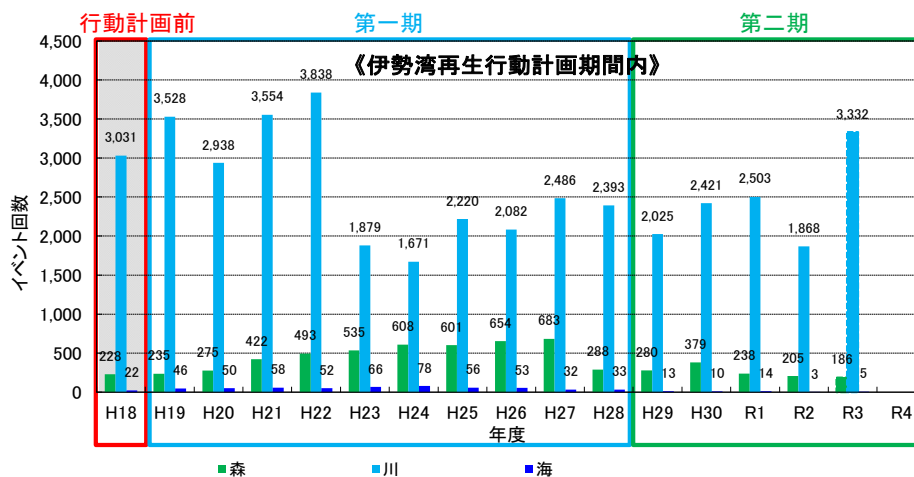


(4) 多様な主体による協働・連携

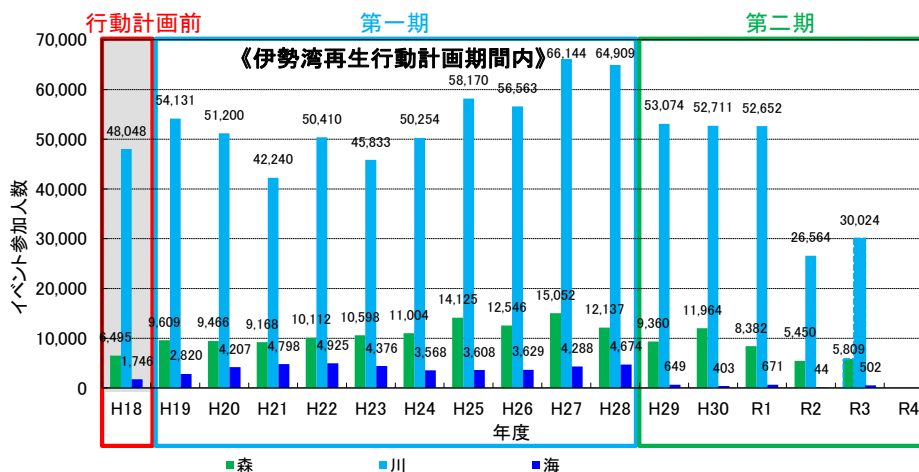
コロナの影響で減少傾向にあったイベントが令和3年度はやや上昇傾向にあり、活発なイベント活動が確認された。

イベント人数はコロナ禍になる以前と比較し少ないものの、イベント回数については二期計画内でも最多となっている。

■ イベント回数



■ イベントの参加人数



1.3 モニタリングや広報活動等の報告

(1) 令和4年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング

1) モニタリングの目的

水質、生物の生息状況を継続的に調査することで伊勢湾流域圏全体における水環境の状態を把握するとともに、多くの皆様から伊勢湾に関心を持っていただき、伊勢湾再生への意識を高めることを目的としている。

2) モニタリングの実施内容

モニタリング期間：令和4年7月1日（金）～8月31日（水） ※統一実施日なし

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質調査」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施した。今年度も伊勢湾再生に関心のある多くの団体・機関が参加した。

表 1.5 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト・ごみ調査・生物調査	
		団体数	参加人数
令和4年度	25	38	567
令和3年度	27	39	462
令和2年度	27	44	666
令和元年度	21	43	806
平成30年度	22	39	612
平成29年度	25	48	945
平成28年度	17	51	970
平成27年度	31	71	(集計値なし)
平成26年度	15	76	675
平成25年度	29	83	(集計値なし)
平成24年度	46	59	(集計値なし)
平成23年度	42	49	(集計値なし)
平成22年度	51	67	(集計値なし)
平成21年度	35	60	(集計値なし)

※参加人数は記載のあったものだけカウント



図 1.4 調査の実施状況（左写真：水生生物調査の様子、右写真：水質パックテストの様子）

3) 調査の結果

図 1.5 に令和 4 年度および令和 3 年度のモニタリング実施地点を示す。流域圏の河川や海域など多くの地点でモニタリングが行われている。

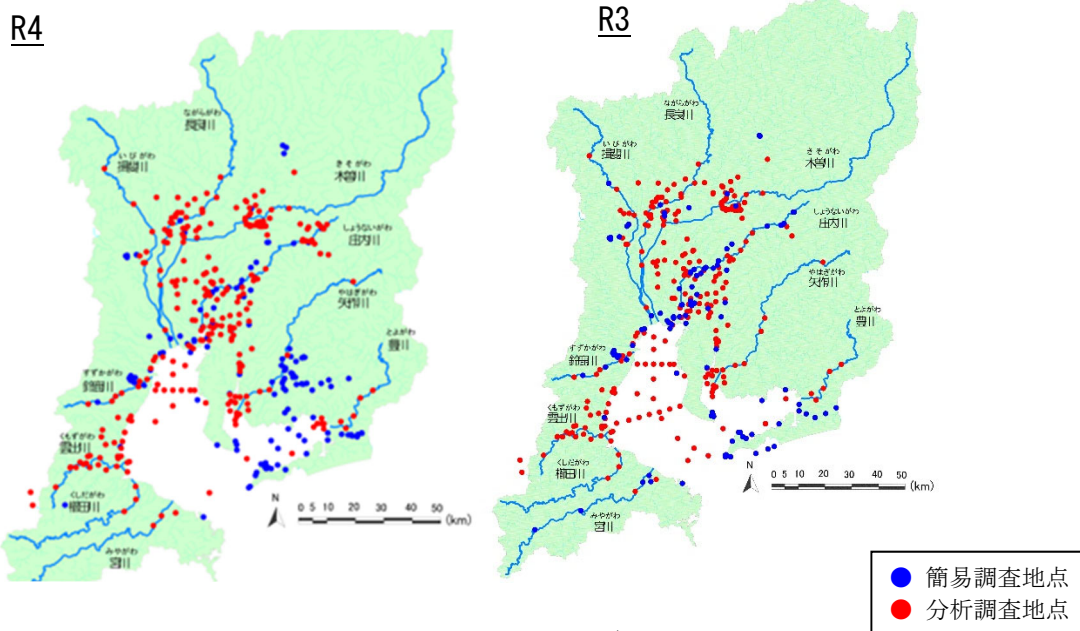
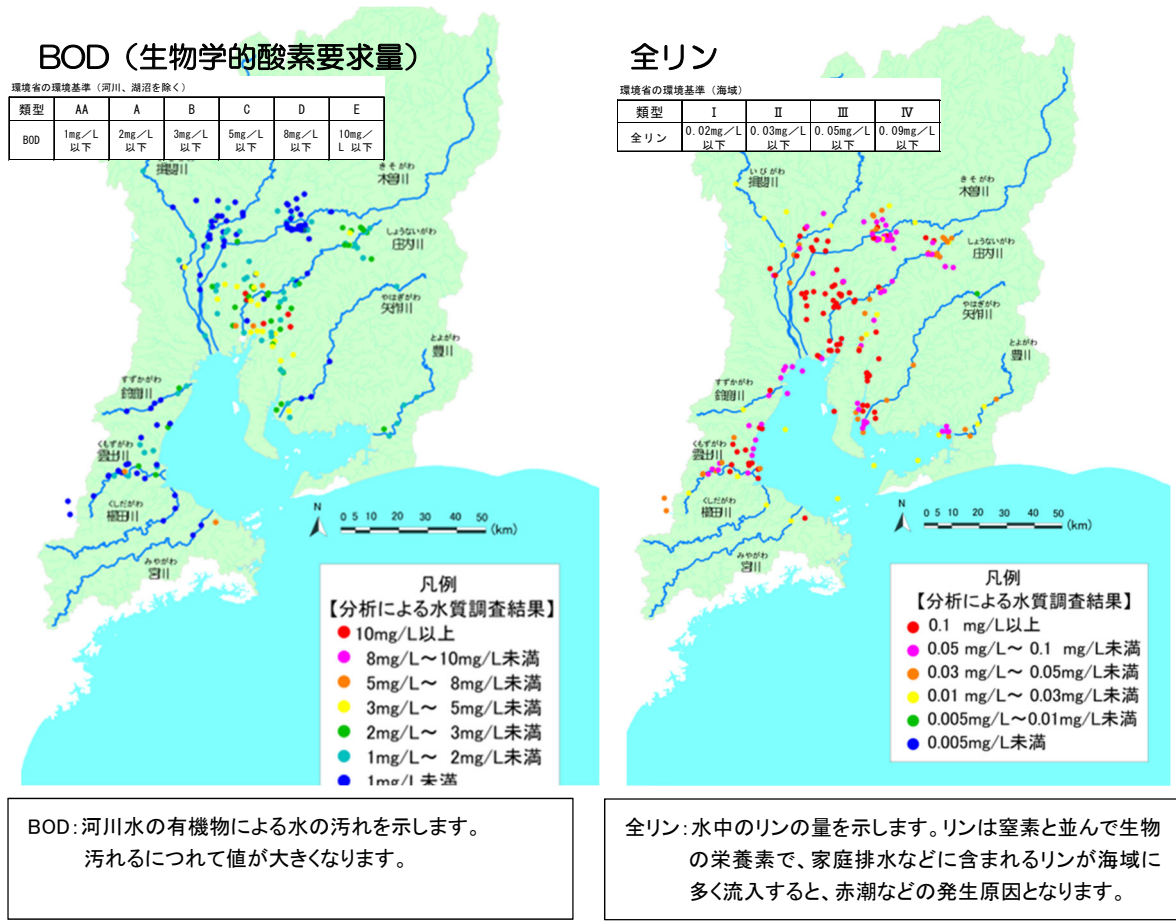


図 1.5 モニタリング地点

a) 分析による水質調査



b) 簡易水質調査

一斉モニタリングは、平成21年から行っており経年的に参加いただいている団体もある。経年的な調査結果により、伊勢湾流域圏の水質が把握されている。

COD（化学的酸素要求量）



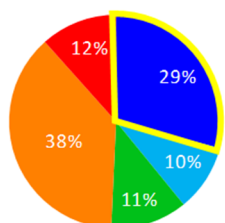
COD: 湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

【参加者の感想の一例】

- 橋から見た目では、水深も浅く川底が確認できる。子魚は確認できなかったが、いつも通りコイが数匹確認できた。カワウは、採水地点近くの水面に浮かんでいたり、川の上を飛んだりしていた。水中に潜って小魚を採っている姿を橋の上から近距離で見られたのはラッキーでした。慣れ親しんだ地元の水なので、皆さんに関心を持っていただいで、いつまでもきれいな川であってほしいです。

①水の色の変化

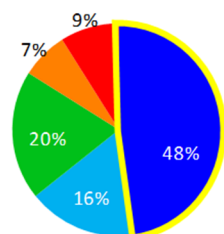
平成21年度



調査地点: 69地点

「無色」約29%

R4年度



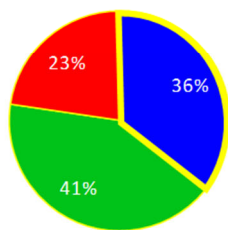
調査地点: 112地点

「無色」約48%

無色の回答が増加

②水のきれいさ

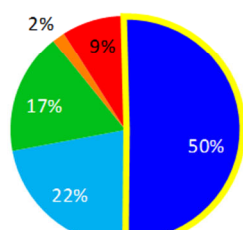
平成21年度



調査地点: 75地点

「澄んでいる」約36%

R4年度



調査地点: 118地点

「澄んでいる」約50%

澄んでいるの回答が増加

(2) 広報活動の充実

各機関が主体となって、伊勢湾のアピールエリア等における取組みのPR活動を行った。

図 1.6 に各機関におけるPR実績位置図を、図 1.7 にPR活動の主な事例を、表 1.6 に各機関における実績一覧を示す。

コロナ禍の中でも、開催方法等を工夫し、全36活動が実施されている。

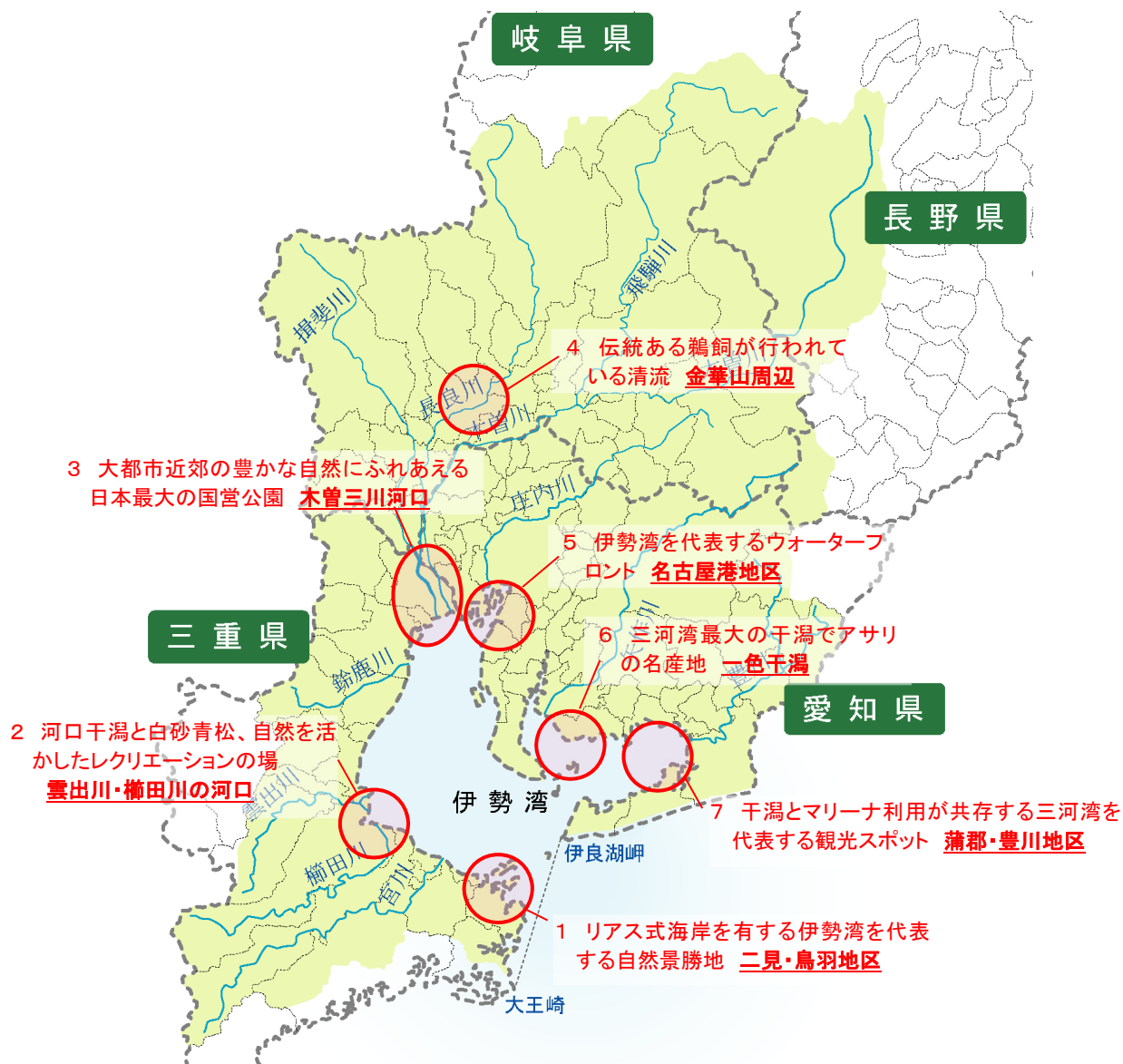


図 1.6 アピールエリア (7 地域)



図 1.7 アピールエリア等の PR 活動実績の主な事例

表 1.6 アピールエリア等のPR活動実績（一部予定）

組織	常設または 時期未定	令和4年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
岐阜県	環境生活部 脱炭素社会推進課											・美濃加茂市e-kamonまるごと環境フェア2022(10/15 啓発ブース出展)		
	環境生活部 廃棄物対策課				・県政広報番組(5/28、揖斐川流域クリーン大作戦にて取材ロケ)		・県立不破高等学校クリーン活動(7/16) ・GIAHS鮎の日イベントブース出展(7/24)					・第1回プラゴミ・ゼロキャンペーン(5/30~6/5)		・第2回プラゴミ・ゼロキャンペーン(10/19~10/25)
愛知県	政策企画局 企画課													
	環境局環境政策部 水大気環境課				・知ろう！ふれあおう！三河湾inエアポートウォーク名古屋(6/18)			・知ろう！ふれあおう！三河湾inイオンモール岡崎(8/9)				・知ろう！学ぼう！三河湾inあいち市町村フェア(11/11)	・知ろう！学ぼう！三河湾in豊橋530のまち環境フェスタ(11/12)	
	建設局 下水道課	・下水道科学館へ常設展示										・アクション油ヶ淵2022(10/29)		
三重県	環境生活部 大気・水環境課	・伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦(通年)	・交流会				・テレビスポットCMの実施(7月)					・奈佐の浜P	・三重県環境フェア	・テレビスポットCM (2/1~2/28)
		・SNSによる啓発活動(通年)			・啓発パネル展示①	・パネル展示②	・パネル展示③				・出前トーク②			・Youtube広告配信 (2/1~2/28)
名古屋市	環境局 地域環境対策課	・動画配信										・庄内川啓発事業 (10月29日)		
名古屋港管理組合												・SDGs AICHI EXPO2022(10月6~8日)		
												・みなと体験ツアー(10月12日)		
四日市港管理組合					・四日市港いきもの観察会 (開催当日、天候不良により中止)							・レッツエコアクションinAICHI(11月6日)		・四日市港エコクルーズ (3月18日(予定))
国土交通省 中部地方整備局	企画部													・海の再生全国会議 (3/10)
	港湾空港部						・地域協働講座(7/17)	・地域協働講座(8/4)			・環境デー名古屋(9/17)	・三河湾大感謝祭(10/9)	・愛知県との共催によるシンポジウム(10/25)	
					・三重県との共催によるシンポジウム(6/21)	・伊勢湾流域圏一斉モニタリング(7/1~8/31)							・伊勢湾水理環境実験センター 一般公開 ※コロナ感染拡大状況を考慮し中止	
環境省	中部地方環境事務所				・子どもパークレンジャー事業「川辺の里、調査隊！～横輪川の生き物観察～」(7/3)									
					・カヤックで行く!リアス海岸調査隊!!(6/12)・漂着物調査隊!集めて作ろう!!フォトフレーム(6/19)									
					・環境省レンジャー写真展(伊勢志摩・藤前干潟の写真を含む)(6~2月)									
					干潟観察会「カニパラ ダイスヘレッツゴー」 (6月)			干潟観察会「干潟の ふしぎを体感しよう」 (8月)						

表 1.7 アピールエリア等の PR 活動実績表（一部予定）

日付	組織	会議・イベント名	実施場所(地名もしくは会場名等)	実施内容の概要		
				対象者	PR方法	内容
令和4年6月18日	愛知県	知ろう！ふれあおう！三河湾inエアポートウォーク名古屋	エアポートウォーク名古屋	県民	生きものタッチプール等	三河湾に触れる機会の少ない県民に三河湾への関心を促すきっかけとするため、生きものタッチプール等を用いてPRを実施した。
令和4年7月30日	愛知県	三河湾環境学習会	蒲郡荘	県民	体験	三河湾の環境について学んでもらうため、水産高校の実習船に乗船し、船内見学や環境調査等の体験を実施した。
令和4年8月9日	愛知県	知ろう！ふれあおう！三河湾inイオンモール岡崎	イオンモール岡崎	県民	生きものタッチプール等	三河湾に触れる機会の少ない県民に三河湾への関心を促すきっかけとするため、生きものタッチプール等を用いてPRを実施した。
令和4年8月27日	愛知県	三河湾環境再生体験会	東幡豆海岸及び前島	県民	体験	干潟の役割や大切さを知ってもらうため、アサリの稚貝の放流と被覆網の設置体験、干潟の生きものの観察等を実施した。
令和4年10月9日	愛知県	三河湾大感謝祭	一色さかな広場	県民	体験	三河湾への関心を高め、SDGsの理念を発信するため、体験型ブース等各種企画により海の豊かさについてPRを実施した。
令和4年10月29日	油ヶ淵水質浄化促進協議会	アクション油ヶ淵2022	油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園	県民	体験型講座等	油ヶ淵への関心を高め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、体験型講座(ミニビオトープ作り)等を実施した。
令和4年11月11日	愛知県	知ろう！学ぼう！三河湾inあいち市町村フェア	愛・地球博記念公園	県民	パネル展示等	三河湾に触れる機会の少ない県民に三河湾への関心を促すきっかけとするため、生きもの標本や啓発パネル等を用いてPRを実施した。
令和4年11月12日	愛知県	知ろう！学ぼう！三河湾in豊橋530のまち環境フェスタ	豊橋総合動植物公園	県民	パネル展示等	三河湾に触れる機会の少ない県民に三河湾への関心を促すきっかけとするため、生きもの標本や啓発パネル等を用いてPRを実施した。
令和4年10月6～8日	名古屋港管理組合	SDGs AICHI EXPO 2022	国際展示場	市民	チラシ配布	緑地整備に関するチラシを配布してPRした。
令和4年10月12日	名古屋港管理組合	みなと体験ツアー	名古屋港内	市民	イベント	地域産業やくらしを支える名古屋港を船で海上から見学するツアーを実施した。
令和4年11月6日	名古屋港管理組合	レッツエコアクションinAICHI	国際展示場	市民	チラシ配布	緑地整備に関するチラシを配布してPRした。
令和4年10月15日	美濃加茂市 加茂郡7町村	e-kamonまるごと環境フェア2022	ぎふ清流里山公園	県民	チラシ	環境フェアの啓発活動時に、チラシを配付してPRした。
令和4年5月28日	環境生活部 廃棄物対策課	揖斐川流域クリーン大作戦	垂井町	町民	県政広報番組	揖斐川流域一帯での清掃活動について、県の重点モデル区域である垂井町をロケ地として、清掃活動の様子取材し、県政広報番組にてPRした。
令和4年5月30日	環境生活部 廃棄物対策課	第1回 プラごみ・ゼロキャンペーン	全県	県・市職員 関係団体	SNS パネル	市町村及び関係団体等と連携し、ごみ拾いSNSを活用した清掃活動の実施を働きかけを行うなど、地域の環境美化を促進した。
令和4年7月16日	環境生活部 廃棄物対策課	県立不破高等学校 クリーン活動	県立不破高等学校 及び周辺地域	高校生 保護者 ボランティア	パネル	高校生が取り組む清掃活動において、海洋ごみ発生抑制との関連等についてパネル等でPRするとともに、ごみ拾いSNSを活用した清掃活動を実施した。
令和4年7月24日	環境生活部 廃棄物対策課	GIAHS鮎の日イベント	あゆパーク(郡上市)	県民	パネル PR動画	世界農業遺産である「清流長良川の鮎」のPRイベントにて、パネル及び動画等により海洋ごみ発生抑制対策についてPRした。
令和4年10月19日	環境生活部 廃棄物対策課	第2回 プラごみ・ゼロキャンペーン	全県	県・市職員 関係団体	SNS パネル	市町村及び関係団体等と連携し、ごみ拾いSNSを活用した清掃活動の実施を働きかけを行うなど、地域の環境美化を促進した。
令和4年4月～	愛知・岐阜・三重県民	伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦	愛知県、岐阜県、三重県	愛知・岐阜・三重の県民	ウェブサイト、 パンフレット	清掃活動している団体を取りまとめ、三県の海岸漂着物問題を啓発した。
令和4年4月～	三重県	-	-	-	SNS	SNS(Instagram,Facebook)を用いて、海岸漂着物問題を啓発した。
令和4年6月2日～8月31日	三重県	テレビスポットCM	三重県	県民	TVCM	県が保有している啓発動画をTVCMとして流し、海岸漂着物問題について啓発した。
令和4年7月19日	三重県	ラジオ番組出演	三重県	県民	ラジオ	ラジオ番組に出演し、海岸漂着物問題について啓発した。
令和4年6月13日～6月17日 令和4年7月1日～7月30日 令和4年8月2日～8月28日	三重県	パネル展示	三重県庁県民ホール 三重県立図書館 三重県環境学習情報センター	県民	パネル	海岸漂着物問題に関してパネルを使用してPRをした。
令和4年7月30日 令和4年10月12日	三重県	出前トーク	マリナー河芸隣接ビーチ 明和中学校	県民	出前トーク	海岸漂着物問題をテーマに出前トークを実施した。
令和4年4月26日	三重県	伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦交流会	三重県津庁舎	県民(清掃団体等)	意見交換	海岸域や市街地等の清掃を実施しているボランティア団体等の相互の情報共有や意見交換を行うことを目的とした、交流会を開催した。
令和4年10月9日	三重県	22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会奈佐の浜海岸清掃	鳥羽市答志島奈佐の浜海岸	愛知・岐阜・三重の県民	意見交換	22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会が主催する「奈佐の浜海岸清掃」に参加し、意見交換会で三重県の海岸漂着物対策の取組についてPRした。
令和4年12月11日	三重県	みえ環境フェア2022	メッセウイング・みえ	県民	ブース出展	環境フェアにブース出展し、海岸漂着物問題等についてクイズやノベルティ配布を行い、啓発を実施した。
令和5年2月1日～28日	三重県	海岸漂着物問題PR動画広告配信	Youtube	県民	広告配信	Youtube利用者に対し、海岸漂着物問題PR映像「アナタカモ」を配信し、環境問題について啓発を実施した。
令和5年2月1日～28日	三重県	テレビスポットCM	三重県	県民	TVCM	県が保有している啓発動画をTVCMとして流し、海岸漂着物問題について啓発した。
10月29日	環境局地域環境対策課	カヌー&ガサガサ体験 ～土岐川・庄内川の水環境を学ぼう～	岐阜県多治見市土岐川多治見橋下	市民	イベント	庄内川の歴史や水質についての講義や生き物採集体験、カヌー乗船体験を行った。
常時	環境局地域環境対策課	庄内川啓発動画「庄内川のむかしと今 川はつながっている」		市民	動画	庄内川の歴史や水環境の変遷、関係者へのインタビューをまとめた啓発動画をYouTube上で配信した。
6月12日	環境省中部地方環境事務所	カヤックで行く!アス海岸調査隊!	志摩市大王町波切	小学生及び保護者	イベント	シーカヤックに乗り、英虞湾の自然や漂着ごみについて学ぶイベントを実施した。
6月19日	環境省中部地方環境事務所	漂着物調査隊!集めて作ろう!フォトフレーム	鳥羽市小浜漁港	小学生	イベント	海岸を清掃し、落ちていた漂着物を使ってフォトフレームを作るイベントを実施した。
6月25日	中部地方環境事務所	干潟観察会「カニパラダイスヘレッツゴー」	稲永ビクターセンター(藤前干潟)	市民	実地	藤前干潟に生息するカニについて、観察会を実施し生きものの豊かさをPRした。
7月3日	環境省中部地方環境事務所	川辺の里、調査隊!～横輪川の生き物観察～	伊勢市横輪川	小学生	イベント	子どもパークレンジャー事業として、伊勢志摩国立公園内の横輪川の生き物を観察するイベントを実施した。
8月28日	中部地方環境事務所	干潟観察会「干潟のふしぎを体感しよう」	藤前干潟活動センター(藤前干潟)	市民	実地	藤前干潟に実際に入ってもらい、干潟の落ち引きなどの体感学習を通してPRした。
令和4年6月～令和5年2月	環境省中部地方環境事務所	環境省レンジャー写真展	伊勢市、志摩市、名古屋市など	市民	パネル	伊勢志摩国立公園や国指定藤前干潟鳥獣保護区などで環境省職員が撮影した写真の展示を行った。